

障害ある お子さん

お預かりします

理由は問わず 24時間、365日 子らののびのび

障害のある子どもや大人を預かる「パーソナルサービスセンター トムトム」(上杉桂子代表)が七月に発足、茅ヶ崎市萩園のアパート風の一室で活動している。放課後の学校へ迎えに行き、部屋で子どもと一緒に過ごす「学童クラブ」や希望する場所に付き添うサービス、トムトムや自宅で一緒に過ごすサービスなどがある。「二十四時間、三百六十五日、障害の種別や預ける理由を問わない」「子どもらがのびのび過ごすのを重視する」のが特徴。会員の母親たちに、ふだんとは違う時間を提供している。

会員は茅ヶ崎市、平塚市、利用者が多いと、会員の子どもは、小学生十人、中学生一人、高校生一人、二十歳の男性一人。スタッフは常勤の男女各一人。部屋は、2LDKの約八

親たち共同運営

十平方メートル。副代表の田尻順子さん(三十九)は、小学三年生の長男が肢体不自由。「できるだけ地域のお子さんとかかわりを持ってほしい」と車いすで普通の小学校に通わせている。月四回ほど、トムトムの学童クラブに長男を預けている。小学二年生の長女と二人きりで話ができる。

一週間単位で昼間預かる夏休みのサマースクールに、自閉症の長女(小三)を任せ、金泰子さん(三十九)は、公園で次男(五)と自転車の練習をしたり、プールに行ったりした。普段はどうしても長女が主になり、長男や次男に不満がたまりがちだという。

トムトムのスタッフ山本奈央さん(三十九)は「母親といつも一緒にいるとは限らない」と話す。「電車では騒ぐ」と聞かされていた小学校一年生の知的障害児と横浜のサーカスを見に行ったり。途中の車内でも客席でもおとなしかったという。

会員たちの悩みは利用料だ。年会費や登録料などのほか、年間の利用時間により、一時間六百円、千二百円、二千円かかる。田尻さんも月二、三万円の出費になる。

会では、三市町と藤沢市の障害児や障害者を対象に体験利用の機会を設ける。十三日のカレーパーティーは定員六人で、すでに五人が応募している。希望者が多ければ、別の日に設定するという。詳しくはトムトム(0467・58・8333)へ。

茅ヶ崎「トムトム」

ボランティアの青年とゲームやボールで遊ぶ。男の子にとって男同士の遊びも大切」という茅ヶ崎市萩園で

